

俳句づくりチャレンジ!

俳句づくりは決して難しくありません。季語を入れて、5・7・5のリズムを使えば誰でもつくることができます。下のポイントを参考に、自分の感じたことを俳句にしてみよう!

ポイント1
17文字で作る

音引き「一」や、小さい「っ」も1文字に数えますが、小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」は数えません。また、17文字が基本ですが「雀の子 そのけそのけ お馬が通る」(5・8・7)など、字数が多くてもリズムが良ければ問題ありません。

ポイント2
季語を必ず入れる

俳句には季節を表す季語が必要です。「ひまわり」は夏、「コスモス」は秋など、わかりやすい季語が多いので、難しく考えずに季節を感じる言葉を入れましょう。ただし「月」は秋、「蛙」は春など、昔からの約束で決まっている季語もあるので注意しましょう。

ポイント3
驚きや発見を俳句にする

例えば花火の俳句で「花火がね 夏の夜空に きれいだな」は、見たままのことを書いているだけですが、「花火見る 弟の目が 赤青黄」は、目に花火が映っているという発見があります。こうした自分だけの驚きを表現すると良い俳句ができます。

上級編
切れ字をうまく使おう

「や」「かな」「けり」などの「切れ字」を使うことで、俳句の表現力を高めることができます。例えば松尾芭蕉の句の一つ「古池や 蛙飛び込む水の音」では、「古池や」と書くことで少し間が空き、読者に情景をイメージさせることができます。また「名月をとってくると泣く子かな」は、最後の「かな」で余韻のある俳句になっています。

~季語が生まれたのは平安時代! 季語の一部を紹介するよ~

(出典:現代俳句協会現代俳句データベース)

春	夏	秋	冬
◆梅 ◆蛙 ◆かざぐるま ◆桜 ◆春風 ◆すみれ ◆卒業 ◆入学 ◆チューリップ ◆つばめ ◆菜の花 ◆花見 など	◆アイスクリーム ◆朝顔 ◆キャンプ ◆風鈴 ◆雷 ◆浴衣 ◆花火 ◆プール ◆水着 ◆すいか ◆夏休み ◆かき氷 ◆扇風機 など	◆赤とんぼ ◆秋風 ◆秋祭 ◆柿 ◆南瓜 ◆かまきり ◆栗 ◆鈴虫 ◆台風 ◆月見 ◆どんぐり ◆梨 ◆紅葉 ◆りんご など	◆えりまき ◆大晦日 ◆落葉 ◆風邪 ◆カレンダー ◆北風 ◆クリスマス ◆シクラメン ◆除夜の鐘 ◆手袋 ◆スキー ◆雪 など



めざせ平成の松尾芭蕉! 俳句づくり挑戦

第三日暮里小学校6年生のジュニア記者4人が、俳句の歴史やつくり方を学び、自分の作品づくりにもチャレンジしました。



発表会



俳句づくりは楽しかったよ!

つくった俳句を一人ずつ発表。すてきな俳句がたくさんできました

季語を探す



「プールや花火もあるよ」たくさんの夏の季語を見て、どれを取り入れようか迷うジュニア記者

清書



1番良くできたと思う俳句をていねいに清書。自分の名前と一緒に書きます

アイデア出し



指導して下さった佐々木忠利さん。区内の小学校でも俳句を教えています

思いつくまま下書きをして、アドバイスをもらいながら、仕上げしていきます

自分だけの驚きや発見を俳句にしよう
俳句について教えてくれたのは、荒川区俳句連盟会長の佐々木忠利さん。最初に、俳句の歴史などを教えてもらいました。俳句は「世界で最も短い詩」と言われていることを知って驚いたジュニア記者。江戸時代に俳句の芸術性を高め、世の中に広めたのが松尾芭蕉

蕉である、という佐々木さんのお話を、熱心に聞き入っていました。お話を聞いた後、俳句の穴埋め問題や、季語と5文字・7文字の言葉の自由な組み合わせで俳句をつくる練習をして、いよいよ自分の俳句づくりに挑戦。夏の季語を見ながら、イメージを膨らませます。「俳句づくりで大切なのは、発見や驚きです。毎日の生活の中

で経験した自分だけの発見を書いてみるというアイデアと佐々木さんからアドバイス。するとジュニア記者の鉛筆を持つ手に力が入り、次々と俳句を書き上げていきます。みんな真剣に考え、たくさん俳句が出来上がりました。「さすが6年生だね」と佐々木さんも驚きの声。最後に一番良くできた俳句を短冊に清書し、発表会を行いました。

「奥の細道千住あらかわサミット」を開催します
27年3月に「奥の細道千住あらかわサミット」を開催し、さまざまなイベントを行います。「フォト俳句コンテスト」など、オリジナルの俳句をつくって応募することが出来ます。みんなも挑戦してみよう!

三木 杏珠さん
かぶと虫
自分が王者と
つのをふる

文字数を数える時に、小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」は、1文字と数えないことを教えてもらって、良かったです。

木下 莉利沙さん
せんぶうき
私の声は
宇宙人

最初は難しかったけど、いろいろなことを教えてもらって、満足のいく俳句をつくることができました。

香野 涼子さん
夏の川
流れる水の
大合唱

俳句の5・7・5は、連歌などの5・7・5・7・7の上句が独立してできたことを知って、勉強になりました。

野口 愉可さん
風鈴は
音色をつくる
風が友

俳句はただ言葉を並べただけではなく、いろいろな意味が詰まっていて、面白いと感じました。

懐かしいあの日あの時 思い出写真館

No. 19

昭和30年の 臨海学校



昭和30年7月、千葉県安房郡勝山町(現在の鋸南町)へ、区内の中学2・3年生が臨海学校に行きました。勝山町までは船で向かい、生徒たちは3泊4日の集団生活を過ごしながら、心身をきたえていました。

臨海学校では、海での泳ぎ方を学んだり、スイカ割りを行ったりと普段はできない体験を楽しみました



昭和30年7月に撮影された、臨海学校へ向かう船が出港する様子。参加者の保護者達が港から見送っています

荒川ふるさと文化館

俳句をつくろう! 楽しもう!

たくさん俳句ができたね!

荒川ふるさと文化館「夏休み子ども博物館」俳句をつくろう!の様子を紹介します。

8月21日、荒川ふるさと文化館で「夏休み子ども博物館」のイベントの1つ「俳句をつくろう!」が開催されました。初めに、講師の俳人協会幹事・加藤早苗先生から、俳句の作り方を楽しく教えてもらい、素盞雄神社へ俳句に取り入れる夏の季語を探しに行きました。「セミ」「桃の実」など、たくさんの季語を見つけた参加者は、次々に俳句を書きだしていました。最後に、自作の俳句に絵を添えてうちわに描き、オリジナル俳句うちわを作りました。参加した子どもたちは、「とても楽しく作ることができました」と笑顔を見せていました。

自作の俳句と絵を書いて、オリジナル俳句うちわを作りました



「セミがいるよ!夏の季語になるんだね」外に出てみんなで季語を探しました

~矢立初めの地あらかわ~ フォト俳句コンテスト 作品募集!

区内の風景をカメラで撮影し、その時・その場で感じたことを俳句で表現して応募しよう!

- ◆募集期間 11月30日(日)まで
- ◆対象 一般の部、子どもの部(小学生以下)
- ◆テーマ ①奥の細道 ②矢立初めの地あらかわ ③家族 *①~③のテーマ別に1人1句まで
- ◆応募方法 区役所6階観光振興課、区立図書館で配布する応募用紙に記入、写真を同封して郵送 *応募用紙は、荒川区ホームページからもダウンロードできます
- ◆応募先 〒100-8502 東京新聞広告局営業推進部(住所不要) 「矢立初めの地あらかわフォト俳句コンテスト」係
- ◆問合せ 奥の細道千住あらかわサミットイベント事務局 ☎(6910) 2483 *祝日を除く月~金曜日 午前10時~午後5時

